

ひだんせいさんらん

非弾性散乱

■ 用語解説 ■

エネルギーのやり取りをする散乱のこと。物質に入射した中性子が散乱される過程のひとつで、散乱の前後で中性子のエネルギーが変化する散乱を言う。波や粒子が物質と衝突する際に物質の構造や運動に関する情報がエネルギーのやり取りとして散乱される波や粒子に反映され、これらを解析することで物質の空間構造や運動の状態に関する情報が得られる。主に物理学、化学、生物学などの基礎科学研究に用いられる。→弾性散乱